

《 詳細版 》

1) 豊かな自然環境を子どもたちの世代へ

①三番瀬・盤洲干潟の保護

三番瀬や盤洲干潟は、東京湾にありながら江戸時代から高度成長期を経て受け継がれてきた生物多様性の宝庫です。しかしながら、この優れた浄化能力をもつ三番瀬が、必要性のない第二湾岸道路の建設、護岸整備などによって失われようとしています。

グリーンズ千葉では、三番瀬のラムサール条約登録を目指し、残された豊かな自然を子どもたちに残す運動を支持します。

②一宮海岸ヘッドランド計画を止め豊かな海辺再生へ砂浜浸食対策として導入されたヘッドランド計画によって、九十九里浜の景観や生態系が破壊されています。「人工岬工法」と呼ばれるヘッドランド工法では、沿岸全体の砂浜を回復することはできません。このような時代遅れの工法によって、砂浜浸食防止に効果があるどころか一層加速されています。

グリーンズ千葉では、このヘッドランド計画を全面的に見直し、より生態系に配慮した工法による砂浜再生を求めます。

③鬼泪山(きなだやま)国有林などの山砂採取問題と緑の回復

千葉県は日本最大規模の採石や砂利生産地で、自然保護に全く配慮がない大量の砂利採取が毎年行われています。その大部分は山砂であり、富津市の鬼泪山国有林などは山ごと削り取られようとしています。

グリーンズ千葉では、このような自然を顧みない経済優先の砂利採取事業に反対し、これまで無秩序に破壊されてきた千葉の緑と生態系を段階的に回復するよう要望します。

④産業廃棄物の不法投棄を廃絶し、循環型社会の創出
千葉県は産業廃棄物の排出量で全国ワースト2位です。また、以前は「首都圏のごみ捨て場」とも呼ばれ、残土や産業廃棄物の不法投棄は全国ワースト1位でした。産業廃棄物は、もし適正な処理を怠れば汚染水流出や中間処理場から排出されるダイオキシンなどによって、深刻な環境汚染を引き起こします。

グリーンズ千葉では、こうした産業廃棄物の不法投棄を根絶するとともに、循環型経済社会の構築を促進するよう求めます。

⑤八ツ場ダム建設より雨水利用や堤防の補修を

治水・利水の効果がほとんど期待できず、また、地質が悪く危険で事業費が膨らみ続ける八ツ場ダムの開発。首都圏全体でも90年代半ばから水需要が減少し、水不足から水余りの時代にはいつてきています。

グリーンズ千葉は、時代にそぐわない不必要なダム建

設(ダムの本体工事は始まっていない)の即時中止と、地元住民の「生活再建支援法」制定を求めます。

2) 放射能(特にヨウ素とセシウム)による健康影響を調査し、予防原則に則った迅速な対応を

千葉県は福島第一原発からの放射能により汚染されました。正式な調査がされない「土壌放射能汚染実態」、処分地が決まらない「放射能汚染焼却灰」、なかなか終わらない「放射能除染作業」、いつまでも続く「放射線と放射能測定」など、放射能問題が山積んでいます。そして、放射能の健康への影響、特に子どもたちへの影響が心配です。しかし放射性ヨウ素による初期被ばくの実態は明らかでなく、今も続く低線量被ばくの影響については専門家の間で意見が対立しています。県民、特に子どもたちの命を守るために、予防原則に基づいた健康調査の実施が必要です。

グリーンズ千葉では、千葉県および市町村に学校・幼稚園・保育所での健康診断の強化と乳幼児検診の充実(甲状腺検査を加えるなど)を求めます。さらに、千葉県には健康調査について国へ要望することと、市町村の放射能対策(健康診断)への支援を求めます。

3) 「子どもの権利」が息づく社会と、地域が担う教育へ

虐待や性被害、障害を持つなど特別な支援を必要としている子どもたちのSOSに耳をすませて最優先で対応し、自分らしく生きる権利、子どもも持っている「意見表明権」を保障することが求められます。また、日本の子どもの7人に1人は貧困に直面しています。「子どもの貧困」を許さない社会を実現させましょう。グリーンズ千葉では、「子どもの権利条約」にもとづく権利の主体としての子どもの環境を保障することを求めます。

4) 県政への市民参加と情報公開を

市民参加自治の「千葉モデル」とまで言われた三番瀬円卓会議。賛成派も反対派も等しく席が設けられ、毎回の会議は公開され、同席した市民も同じように発言を許されました。しかしながら、現千葉県知事が三番瀬円卓会議を廃止して以降、千葉県政の情報公開と住民参加は著しく後退しています。

グリーンズ千葉では、市民参加型自治を再び千葉県政に取り戻すべく、審議会への市民公募、会議へのクオータ制(男女同数)導入などを行い、公的熟議の促進を要求します。

(裏面に続く)



提案します！千葉県政 11 の視点

《 詳細版 》

5) 男女共同参画基本条例の

即時制定および政策の推進を

千葉県は全国で唯一の男女共同参画基本条例が制定されていない県です。男女共同参画社会の実現は、誰もが性別にとらわれず自分らしく生きていくための基本的な人権の保障に不可欠です。

グリーンズ千葉では、県に対して男女共同参画基本条例の制定を求め、さらに、男女共同参画政策の推進のモデルを示し県内の自治体における政策推進の格差の是正を求めます。また、女性の管理職登用など政策決定への参画、男女がともに仕事と生活を両立できるワークライフバランス政策、DV政策の充実強化などを望みます。

6) TPP 参加に NO! 千葉県に根ざした農業・産業・医療の発展を

千葉県の試算によると、日本が TPP (Trans-Pacific Partnership = 環太平洋連携協定) に参加することにより県内の農業分野だけでも 1380 億円の損失が出ると予想されています。関連産業への影響を考えると、雇用や地域経済に与える影響は計り知れません。

また、TPP の真の狙いは、アメリカ巨大多国籍企業による「金融」「保険」「医療」支配等であるとも言われています。アメリカが日本に強く求めているのは、例えば「医療保険」の開放であり、具体的には、「混合診療の解禁」です。拠点病院の少ない千葉県ではその影響は診療代金の高騰や増大だけでなく、切に診察が必要な人が病院に行けなくなるような深刻な医療難民問題を生み出す恐れもあります。

グリーンズ千葉は、このような強者によるやりたい放題の自由貿易の押しつけには反対し、地域に根ざした農業・産業・医療の維持と発展を応援します。

7) 活発で持続的な農業への支援を

温暖な気候に恵まれた千葉県の農業産出額は全国 3 位、漁業生産量は全国 5 位と日本有数の「食料供給地」です。しかしながら、毎年第一次産業に従事する人口は減少を続け、千葉県でも深刻な後継者問題を抱えています。こうした状況を打破しようと、第一次産業が、生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造・販売や観光農園のような地域資源を生かしたサービスなど、第二次産業や第三次産業にまで踏み込む「6次産業化」など各地域で様々な取り組みがなされています。

グリーンズ千葉では新規就農や有機農業奨励策を通じて県内農業の活性化を応援します。

8) 医療と福祉社会の充実を

千葉県の医療体制は、人口あたりの医師数や病院数で見ると全国で常に下位にランキングされています。救

急医療の拠点病院や救命救急センター不足、救急患者の搬送にかかる時間、そして 2008 年には、銚子市立総合病院の全面休止などの「銚子ショック」は日本の医療崩壊のシンボルとなりました。以来、地域社会の高齢化が加速している中、「千葉県地域医療再生プログラム」の実施などの改革が行われています。

グリーンズ千葉では医療や福祉体制などの整備を一層強力に推進していくことを求めます。

9) 持続可能エネルギー社会への貢献を

① 温暖化ガス排出の抑制

千葉県には重工業や火力発電所が多く立地しており、二酸化炭素排出量は日本で最大となっています。県内には 5 つの火力発電所がありますが、五井、姉崎、袖ヶ浦火力発電所は古く、熱効率も低い発電所となっています。これらを迅速に、熱効率のよい、たとえばコンバインドサイクル発電方式 (ガスタービン発電と蒸気タービン発電を組み合わせた発電方式) などに代替し、エネルギー転換部門での省エネを図ることが重要です。また、産業部門においては、廃熱も利用できるようにコージェネレーションなどの新しいエネルギー供給システムの導入を促進し、温暖化ガス排出を抑制する取り組みが必要です。

② 県内再生可能エネルギーの普及

再生可能エネルギーは地域の環境に配慮しながら、地理的特性に合わせて導入することが肝要です。千葉県は太陽光、風力、バイオマスなど日本でも有数の再生可能エネルギー賦存量 (理論的に導き出された総量: 将来使用可能なエネルギーの総量) を誇ります。これらのポテンシャル (潜在力) を有効活用し、市民参加の協議を行いながら、地域分散型の持続可能なエネルギー社会を構築していくことを求めます。

10) 将来世代に借金を残さない県財政へ

千葉県の債務は、建設地方債の新規発行額が減少する一方で、将来世代に負担を残す退職手当債と臨時財政対策債・減税補てん債等がここ 10 年一貫して増加傾向にあります。その結果、平成 24 年度の累積債務は 2 兆 8592 億円にのぼっています。これに対して千葉県は「一人当たり」で全国水準を大きく下回るとしています。

グリーンズ千葉では、県に対して一層の経常経費の削減、無駄な公共投資の削減を徹底して行い、財政の健全化に務めるよう要望します。

11) 「カジノ」より、自然を活かした観光を

現千葉県知事が意欲を見せているカジノ構想。賭博には依存性があり、青少年への影響も指摘され、良質な観光とは言えません。

グリーンズ千葉では、健全な地域振興の実現を目指して、市民とともに検討し提案していきます。